

## 運用報告書 (全体版)

### みらいのサイフ (アドバンスコース)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2021年12月29日から2031年12月12日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	みらいのサイフ (アドバンスコース)
	ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ (以下「マザーファンド」といいます。) 受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ (ETF) を主要投資対象とします。
	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、世界 (日本を含む) の株価指数先物取引、債券先物取引および上場している投資信託証券 (ETF) に実質的に投資します。 ②基準価額の変動リスクを年率8%程度に抑えるように努めつつ、安定的な基準価額の上昇をめざします。 ※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれをも約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの中長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率8%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 ③実質的に保有している外貨建ての証拠金については、原則として対円で為替ヘッジを行います。
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日 (原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日。) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

第1期	<決算日	2022年2月15日>
第2期	<決算日	2022年3月15日>
第3期	<決算日	2022年4月15日>
第4期	<決算日	2022年5月16日>
第5期	<決算日	2022年6月15日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みらいのサイフ (アドバンスコース)」は、2022年6月15日に第5期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

## みらいのサイフ (アドバンスコース)

### ■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			株式組入率	株式先物比率	債券組入率	債券先物比率	投資信託、 託受益証券、 投資証券組入 比率	純資産総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率						
第1作成期	(設定日) 2021年12月29日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 763
	1期(2022年2月15日)	9,393	0	△6.1	-	66.0	10.2	96.2	10.0	985
	2期(2022年3月15日)	9,072	0	△3.4	-	25.8	10.0	134.2	10.5	999
	3期(2022年4月15日)	8,965	0	△1.2	-	51.4	9.5	81.2	10.8	1,049
	4期(2022年5月16日)	8,666	0	△3.3	-	48.9	9.5	135.1	10.2	1,051
	5期(2022年6月15日)	8,110	0	△6.4	-	24.1	10.9	111.2	11.1	914

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

## ■当作成期中の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 率	託 券 証 券 組 入 率
		円	騰 落 率						
第1期	(設定日) 2021年12月29日	10,000	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% -
	12月 末	9,955	△0.5	-	78.3	-	103.2	-	-
	2022年1月 末	9,441	△5.6	-	77.2	10.7	94.7	9.4	9.4
	(期 末) 2022年2月15日	9,393	△6.1	-	66.0	10.2	96.2	10.0	10.0
第2期	(期 首) 2022年2月15日	9,393	-	-	66.0	10.2	96.2	10.0	10.0
	2月 末	9,389	△0.0	-	35.2	10.0	98.4	10.0	10.0
	(期 末) 2022年3月15日	9,072	△3.4	-	25.8	10.0	134.2	10.5	10.5
第3期	(期 首) 2022年3月15日	9,072	-	-	25.8	10.0	134.2	10.5	10.5
	3月 末	9,098	0.3	-	50.7	9.3	66.9	10.1	10.1
	(期 末) 2022年4月15日	8,965	△1.2	-	51.4	9.5	81.2	10.8	10.8
第4期	(期 首) 2022年4月15日	8,965	-	-	51.4	9.5	81.2	10.8	10.8
	4月 末	8,798	△1.9	-	49.5	9.5	106.2	10.5	10.5
	(期 末) 2022年5月16日	8,666	△3.3	-	48.9	9.5	135.1	10.2	10.2
第5期	(期 首) 2022年5月16日	8,666	-	-	48.9	9.5	135.1	10.2	10.2
	5月 末	8,825	1.8	-	50.4	10.1	136.4	10.0	10.0
	(期 末) 2022年6月15日	8,110	△6.4	-	24.1	10.9	111.2	11.1	11.1

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 騰落率は期首比(第1期は設定日比)です。

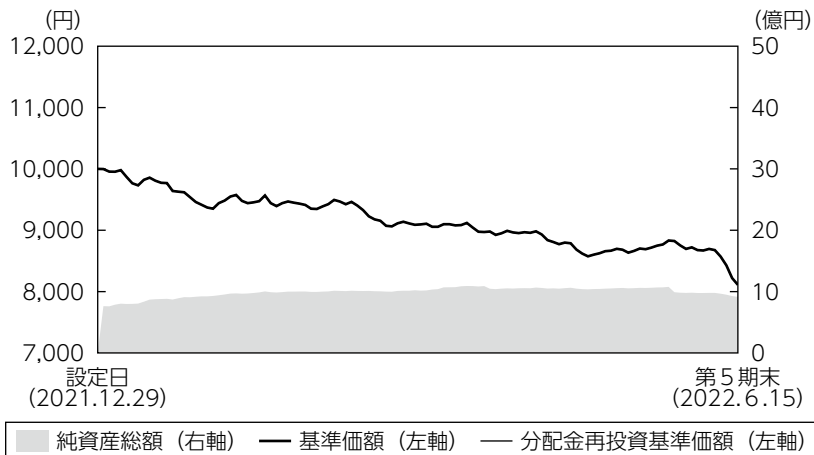
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注5) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■第1期～第5期の運用経過（2021年12月29日から2022年6月15日まで）

### 基準価額等の推移



設定日：10,000円  
第5期末：8,110円  
(既払分配金0円)  
騰落率：△18.9%  
(分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国の金融引き締めや地政学リスクの高まりによる景気減速懸念などから、株式市場、債券市場ともにほぼ全面的に下落する展開となりました。一方、ウクライナ情勢の緊迫化などを受け、金市場は上昇しました。金がプラスに寄与する一方で、株式および債券がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

## 投資環境

F R B（米連邦準備理事会）が金融引き締めを前倒しするとの見方が強まったことなどから、債券市場は下落しました。株式市場は、ウクライナ情勢の悪化やインフレ懸念を受け、下落しました。金市場は、米長期金利の上昇などを受け下落する場面もあったものの、ウクライナ情勢の緊迫化などから、設定日対比で上昇しました。

米ドル／円相場は、米国の金利が上昇し内外金利差が拡大したことや、日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示す中で日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことなどを材料に設定日対比で大幅な円安米ドル高となりました。ユーロは E C B（欧州中央銀行）の金融政策の正常化観測などを背景に、円安ユーロ高の動きとなりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ 100%を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、マザーファンドの組入れを行いました。

### 【当ファンドの資産別構成】 2022年6月15日現在

資産		組入比率	
株式	日本株式	6.1%	24.1%
	米国株式	2.8%	
	欧州株式	3.7%	
	英国株式	2.5%	
	カナダ株式	2.7%	
	オーストラリア株式	3.3%	
	新興国株式	3.0%	
債券	日本国債	31.8%	111.2%
	米国国債	23.7%	
	ドイツ国債	15.5%	
	英国国債	13.9%	
	カナダ国債	10.9%	
	オーストラリア国債	15.4%	
金		11.1%	

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので組入比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 基準日時点での設定・解約、約定を反映した数値を基に作成しています。

(注3) ポートフォリオの構築においては、実質的に、先物取引の買建金額の合計が信託財産の純資産総額の200%程度の範囲内で運用を行います。

### ●ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ

主として世界（日本を含む）の株式、債券、金に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率8%程度となるように努め、ポートフォリオを構築しました。各市場および各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、分散効果が最大となることをめざして株式ポートフォリオおよび債券ポートフォリオをそれぞれ構築し、目標リスクに近づくよう各ポートフォリオの配分比率を決定しました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	2021年12月29日 ~2022年2月15日	2022年2月16日 ~2022年3月15日	2022年3月16日 ~2022年4月15日	2022年4月16日 ~2022年5月16日	2022年5月17日 ~2022年6月15日
当期分配金（税引前）	-円	-円	-円	-円	-円
対基準価額比率	-%	-%	-%	-%	-%
当期の収益	-円	-円	-円	-円	-円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	-円	-円	-円	-円	-円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢの組入比率を高位に維持します。

### ●ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ

引き続き、主として世界（日本を含む）の株式、債券、金に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率8%程度となるように努め、ポートフォリオを構築します。各市場および各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、分散効果が最大となることをめざして株式ポートフォリオおよび債券ポートフォリオをそれぞれ構築し、目標リスクに近づくよう各ポートフォリオの配分比率を決定してまいります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第5期		項目の概要
	(2021年12月29日 ～2022年6月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	56円	0.618%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,094円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(27)	(0.301)	
(販売会社)	(27)	(0.301)	
(受託会社)	( 1)	(0.015)	
(b) 売買委託手数料	3	0.034	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	( 3)	(0.033)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.024	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 0)	(0.001)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 2)	(0.022)	
合計	61	0.676	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

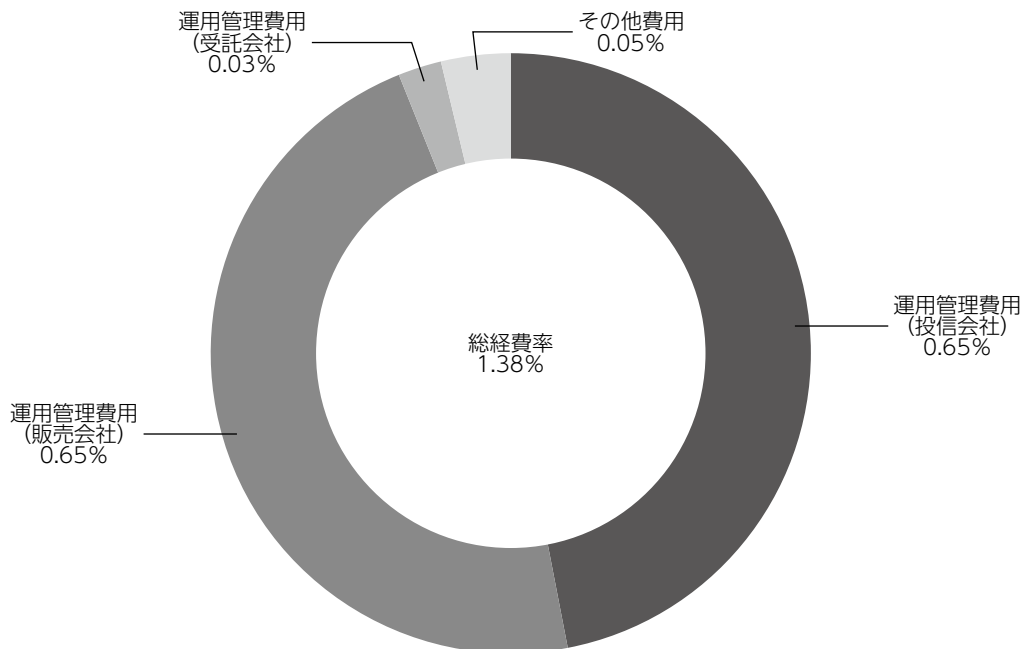
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年12月29日から2022年6月15日まで）

	第 1 期 ~ 第 5 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ	千□ 1,272,414	千円 1,242,330	千□ 161,173	千円 143,760

## ■利害関係人との取引状況等（2021年12月29日から2022年6月15日まで）

### 【みらいのサイフ（アドバンスコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

### 【ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	第 1 期 ~ 第 5 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 100	百万円 100	% 100.0	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 100.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 400	百万円 -	百万円 150	百万円 250	当初設定時又は当初運用時における取得とその処分

## ■組入資産の明細

親投資信託残高

	第 1 作 成 期 末	
	□ 数	評 価 額
ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ	千□ 1,111,240	千円 904,772

## <補足情報>

### ■ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢの組入資産の明細

下記は、ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ（1,111,240,588口）の内容です。

#### (1) 公社債

##### (A) 債券種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

区 分	2022年6月15日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	100,000	100,056	11.1	—	—	—	11.1
合 計	100,000	100,056	11.1	—	—	—	11.1

(注) 組入比率は、2022年6月15日現在のマザーファンド純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

#### (B) 個別銘柄開示

##### 国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	2022年6月15日現在			
	利 率	額面金額	評価額	償還年月日
(国債証券)	%	千円	千円	
1046回 国庫短期証券	—	100,000	100,056	2022/12/20
合 計	—	100,000	100,056	—

#### (2) 外国投資信託受益証券、投資証券

銘 柄	2022年6月15日現在		
	口数	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千アメリカ・ドル	千円
SPDR GOLD SHARES ETF	0.5	84	11,379
ISHARES GOLD TRUST	19.5	669	90,406
合 計	口数 銘柄数<比率>	金額 2銘柄<11.2%>	金額 101,786

(注1) 邦貨換算金額は、2022年6月15日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、2022年6月15日現在のマザーファンド純資産総額に対する外国投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

## (3) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		2022年6月15日現在	
		買建額	売建額
国内	T O P I X	百万円 55	百万円 -
	長期国債	291	-
外国	S & P 5 0 0 E M I N I F U T	百万円 25	百万円 -
	M I N I M S C I E M G M K T	27	-
	S & P / T S E 6 0 I X F U T	24	-
	S P I 2 0 0 F U T U R E S	30	-
	F T S E 1 0 0 I N D E X F U T U R E	23	-
	D J E U R O S T O X X 5 0	34	-
	U S 1 0 Y R N O T E F U T	216	-
	C A N 1 0 Y R B O N D F U T	99	-
	A U S T 1 0 Y B O N D F U T	140	-
	L O N G G I L T F U T U R E	127	-
E U R O - B U N D F U T U R E	141	-	

(注) 外貨建の評価額は、2022年6月15日現在の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2022年6月15日現在

項 目	第 1 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ	千円 904,772	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	10,563	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	915,335	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢは2022年6月15日現在、381,492千円、38.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=135.01円、1カナダ・ドル=104.20円、1オーストラリア・ドル=93.10円、1イギリス・ポンド=162.21円、1ユーロ=140.80円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月15日)、 (2022年3月15日)、 (2022年4月15日)、 (2022年5月16日)、 (2022年6月15日)現在

項 目	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末	第 5 期 末
(A) 資 産	987,741,713円	1,000,621,287円	1,058,095,475円	1,052,674,982円	915,335,319円
コール・ローン等	11,198,754	10,992,619	12,673,831	11,443,020	10,563,233
ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ(評価額)	976,542,959	989,628,668	1,045,421,644	1,041,231,962	904,772,086
(B) 負 債	2,334,164	1,009,880	8,205,916	1,173,659	1,097,340
未 払 金	800,000	-	7,040,000	-	-
未 払 信 託 報 酬	1,529,617	1,006,879	1,162,456	1,170,171	1,094,083
そ の 他 未 払 費 用	4,547	3,001	3,460	3,488	3,257
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	985,407,549	999,611,407	1,049,889,559	1,051,501,323	914,237,979
元 本	1,049,120,869	1,101,861,823	1,171,072,613	1,213,338,363	1,127,295,621
次 期 繰 越 損 益 金	△63,713,320	△102,250,416	△121,183,054	△161,837,040	△213,057,642
(D) 受 益 権 総 口 数	1,049,120,869口	1,101,861,823口	1,171,072,613口	1,213,338,363口	1,127,295,621口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,393円	9,072円	8,965円	8,666円	8,110円

(注) 設定当初の元本額は763,450,000円、当作成期間(第1期～第5期)中における追加設定元本額は535,891,402円、同解約元本額は172,045,781円です。

## ■損益の状況

[自 2021年12月29日]  
[自 2022年2月16日]  
[自 2022年3月16日]  
[自 2022年4月16日]  
[自 2022年5月17日]  
至 2022年2月15日 至 2022年3月15日 至 2022年4月15日 至 2022年5月16日 至 2022年6月15日

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(A) 配 当 等 収 益	△157円	△74円	△32円	△151円	△257円
受 取 利 息	11	4	1	-	6
支 払 利 息	△168	△78	△33	△151	△263
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△53,088,389	△34,224,291	△11,288,515	△34,348,138	△61,695,758
売 買 益	57,714	-	524,444	206,142	1,695,079
売 買 損	△53,146,103	△34,224,291	△11,812,959	△34,554,280	△63,390,837
(C) 信 託 報 酬 等	△1,534,164	△1,009,880	△1,165,916	△1,173,659	△1,097,340
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△54,622,710	△35,234,245	△12,454,463	△35,521,948	△62,793,355
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	-	△54,622,710	△85,216,565	△96,991,482	△121,645,871
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△9,090,610	△12,393,461	△23,512,026	△29,323,610	△28,618,416
(配 当 等 相 当 額)	(△12)	(△927)	(△813)	(△174)	(134)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△9,090,598)	(△12,392,534)	(△23,511,213)	(△29,323,436)	(△28,618,550)
(G) 合 計 (D + E + F)	△63,713,320	△102,250,416	△121,183,054	△161,837,040	△213,057,642
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△63,713,320	△102,250,416	△121,183,054	△161,837,040	△213,057,642
追 加 信 託 差 損 益 金	△9,090,610	△12,393,461	△23,512,026	△29,323,610	△28,618,416
(配 当 等 相 当 額)	(△882)	(△765)	(△167)	(144)	(479)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△9,089,728)	(△12,392,696)	(△23,511,859)	(△29,323,754)	(△28,618,895)
繰 越 損 益 金	△54,622,710	△89,856,955	△97,671,028	△132,513,430	△184,439,226

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円	0円	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	0	0	0	144	479
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	0	0	0	0
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	0	0	0	144	479
(f) 1万口当たり当期分配対象額	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(g) 分 配 金	0	0	0	0	0
(h) 1万口当たり分配金	0	0	0	0	0

## ■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては分配方針を勘案し、無分配とさせていただきました。

## ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ

「ターゲットリスク・バランス・マザーファンドⅢ」は、「みらいのサイフ（アドバンスコース）」の決算日（2022年6月15日）現在、決算を迎えていないため、運用報告書の添付は行っておりません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信 託 期 間	2021年12月29日から無期限です。
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主 要 投 資 対 象	世界（日本を含む）の株価指数先物、債券先物および上場している投資信託証券（E T F）を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。